

貴重映像でたどる

アリランの会の軌跡

かつて、多磨全生園には在日朝鮮人入所者による韓国舞踊の集い「アリランの会」がありました。

「私たちは、ふるさとが懐かしいと思うし、きれいな衣装を着て踊りたい」と、入所者が韓国舞踊家の金順子氏に相談を持ちかけたことによって、一九九〇年に発足し、その活動は二〇〇五年まで続けられました。

当時の公演を記録した貴重な映像や、韓国舞踊を指導された金順子氏の公演から、「アリランの会」の軌跡をたどり、活動に情熱を傾けた会員たちの姿に想いをはせていただきたいと思います。



日時 2019年

3月30日(土) 13時30分~15時(開場13時)

- 13時30分 ごあいさつ
- 13時40分 「アリランの会」の軌跡 映像上映
- 14時20分 金順子氏による韓国舞踊公演

会場 国立ハンセン病資料館 映像ホール
(東京都東村山市青葉町4-1-13)

交通案内 ●西武池袋線清瀬駅南口より西武バス「久米川駅北口」行きバスで約10分 ●西武新宿線久米川駅北口より西武バス「清瀬駅南口」行きバスで約20分 いずれも「ハンセン病資料館」バス停下車すぐ



「アリランの会」発表会の様子

入場無料
130名様
事前予約不要
当日先着順

石香 金順子(キム ジンジャ)氏 プロフィール
韓国伝統舞踊家・金順子韓国伝統芸術研究院主宰
韓国国家指定無形文化財第92号
太平舞保存会 日本東京支部長
宮城県生まれの在日2世。
18歳より本格的に韓国文化芸術活動に取り組み、50年以上、国内外で数々の公演を精力的に行ってきました。
2005年、韓国民族文化芸術大賞受賞。



石香 金順子氏(韓国伝統舞踊家)